

## 「家族支援という視点にたって」

新年度を迎え、今年こそは少しずつ行事の復活を！・・・とあっていただけに、現在のコロナウイルス感染は、まだまだ予断を許さない状況です。第6波のまん延防止措置は終わったものの、感染者は高い水準で下げ止まり、すでに第7波に突入しているという話もあります。コロナウイルスが無くなることはもはやないのだろう、上手に??付き合っていく方法を考えようとは思っているものの、では皆が期待している、以前のようなイベントを行う事にはまだ踏み出せないでいます。感染対策をしつつ、皆の楽しみや様々な活動を少しずつ広げていきたいと思っています。

さて、ここ数年来メンバーの高齢化については、お伝えしてきました。作業所では昨年度から「元気タイム」という時間を設けて、高齢化に伴い作業に参加することが難しくなったメンバーさん達を対象に、嚥下機能低下を防ぐ体操、認知能力の維持を目的としたゲーム、身体的機能維持の為に体操などのプログラムを組んで取り組んでいます。今後も内容をより充実させるために、看護師とも相談しつつ研究・実践していきたいと考えています。そして、メンバーさんの高齢化はイコールご家族の高齢化である事の問題が、ここ数年言われ始めました。ご家族とりわけ親御さんは長年の介護に起因する心身の疲労・負担、どうしても自分のことは後回しにしてしまいがちな自身の疾患を経験されている方が多く、またお子さんの生活を主に考えられるがゆえに、自分自身の高齢期の暮らし方について、相談機関に相談したり、介護保険等利用したりされていない方も少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか。親御さんの高齢化に伴う体調の急激な変化が起こった時に、障害を持つご本人の日常生活そのものが行き詰まってしまうという事も起きているのが現状です。地域で暮らす「中高年の障がい者と高齢の親・同居家族」に対する支援の在り方について、問題点がだんだんとはっきりしてきました。つまり、障害のあるご本人と高齢の親のそれぞれのニーズに対する支援が必要であるだけでなく、「親子として」「家族として」支援する視点が欠かせないのではないかと考えます。しかし、現状は親子それぞれのニーズに対して支援している支援者が、家族としての支援という視点やそれに向けての連携体制できているとは言い難い状況です。

私たち障がい者ご本人の支援者は、前記のような視点に立ち高齢者福祉の情報もしっかりと把握しつつ、高齢者支援の介護保険法に基づく「地域包括支援センター」と障がい者支援の立場に立つ「障害サービス事業所」が連携していく事が必要でしょう。本来は包括支援センターに並ぶものとしては、障害者相談支援事業所なのかもしれませんが、より日常的に障がい者ご本人やご家族と接し、ご家族の状況を把握しやすいサービス事業所も大きな役割を担うと考えます。そしてそれは、支援者個人個人の想いだけではどうにもならず、やはりしっかりとした制度として「家族支援の連携支援体制」を作っていく事も必要だと考えます。

これから益々高齢化社会が進んでいく中で、高齢福祉に関わるものと障がい福祉に関わるもの、そして行政がしっかりと連携して、ご本人とその家族全体を支援していくという視点をもって、制度のはざままで、支援者のはざままで支援が得られず生活に行き詰ってしまう方がでないよう、しっかりと連携体制を作っていく、嫌作っていく必要があると強く思っています。(池田)

## 作業所日記

中江 聡

3月は、いつもとは、ちょっと変わった内職をいくつか行ったので、ご紹介します。まずは、自動販売機のサンプルを組み立てる作業です。紙パックの飲み物のもので、作業工程は、折れ線を折り、箱状の形を作るのとそれを専用のプラスチック板にはめ込むというものです。最初の形作りは、越前屋さん、奥さん、桑原さんが頑張ってくれました。3人とも上手に折るだけでなく、不良の資材があると自ら見つけて、それらを取り除きながら、作業を行ってくれました。数が多かったですが、ほとんどこの3人で、作業を行ってくれました。桑原さんは、「この仕事を頑張って、旅行に行きたいです」と言いながら、丁寧に作業を行ってくれました。そして、箱状になったものをプラスチック板に取り付けていきます。これは、池田さん、花田さん、遠さんが行ってくれました。板に取り付けると言ってもきれいに仕上げるためにはコツが必要で、はじめは時間がかかっていましたが、徐々に慣れてきて、途中から、とてもペースが良くなりました。池田さんは、この作業が好きようで、「今日も自動販売機やるよ～」と言って、積極的に作業を行ってくれました。作業中はとても集中して行っていました。

次にご紹介するのは、小さな箱の梱包作業です。キャラクターグッズが入った2cm程の小さな箱を段ボールに梱包するといったものです。梱包するだけとはいえ、箱が小さいので、1つの段ボールに300個も入れなくてははいけません。この作業では、和也さんと古矢さんが、一緒に作業を行いました。古矢さんと和也さんは、互いにタイミングを見計らって、1つの段ボールに梱包をしていきます。良いコンビネーションで、和也さんが疲れた時は、古矢さんが頑張り、古矢さんが席を外している時には、和也さんが頑張るといったように作業を進めていました。



次もまた細かい作業です。まつ毛の長さを測るスケールの封入です。これは5cm程のものを上下、裏表の向きを合わせて、ビニール袋に入れていきます。細かな作業が得意な花房さんが、素早く正確に作業を行ってくれました。作業前には「今日は、まつ毛！」という作業を把握して、職員に確認をしていました。花房さんが封入したものを今井さん、白井さんが封とじを行ってくれました。2人とも中のスケールが正しく入っているか、確認をしながら、作業を行ってくれました。

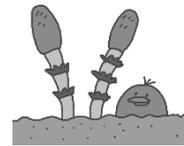
最後に、今シール貼り作業を頑張っている斎藤さんをご紹介します。

斎藤さんは、内職では、小箱や検尿の中身入れを任される事が多いですが、自ら「シール貼りをやってみたい」と要望があったので、機会がある時には、積極的にシール貼りを行ってもらっています。まだ、すべてを完ぺきに行う事は難しいですが、職員にコツを聞いたり、工夫したりしながら、頑張っています。箱にシールを貼る、封かん作業も行いました。斎藤さんに限らず、メンバーの皆様は、できる事を増やして、もっともっと仕事を楽しみましょう。

❁作業所の花壇の花が入れ替わりました。春らしく、たくさんの種類の花が植えられています。この花壇の手入れは、松本さんが手伝ってくれました。近くを通った際には、ぜひご覧ください❁



# 奥君日記より (2022年3月)



- 3日 今日はエアロビがあった日！「この前は、雪で大変だったのでは？」の問いに、「全然降らなかった！」と講師青木さん。今日は何か花房君の様子が楽しそうで、笑ってばかりの本人だ。笑うのも良いが声が大きいエアロビ後半戦だと思う。
- 7日 今日より木箱作りが忙しくなった、ネギ箱作りだ！「俺・桑原・大山・秀島・明久・村田さん」6人で行う。今日、沢野さんがギンナン箱を取りに来た。そのために、ネギ箱も忙しいがギンナン箱も忙しくなった。箱は枠がきちんと正確に打たないと底打ち作業も大変になる。
- 8日 今日は水彩があった。大川先生とは久々に会う感じだ！八重椿を書く。綺麗な薄いピンクの花。午後より3回目の新型コロナウイルス予防接種に足立区役所までバスで行く。注射をして、20分待たされ戻ってきた俺だった！
- 9日 今日はスポーツセンターへ体を動かしに行ったので、木箱作業は少ししか出来ていない俺だ。スポーツセンターへ始めて行った、「越前屋さん・斎藤君・白井さん」は良く出来ていたと褒められた。斎藤君は「ポッチャの王子」と呼ばれた、みんな楽しかったです！で終わった今日のスポーツだ！
- 10日 朝より、眼科医院に寄っての出勤だ。先生曰く「いつも貴方は今頃来る！」と言われ目薬3本もらった。一日4回と3回だ。目が痒くかいたため沢山の傷がありできて瞼が開かなかったらしい。俺にとって大事な左眼だ。
- 11日 昨日より俺が始めた内職は「好きな方」かも知れないと思う。それは、無心に仕事ができるからだ。箱の中に「ただひたすら商品を並べていく」早く出来るコツみたいのはあるのか？
- 12日 土曜の今日は昨日と同じ内職だった。俺の側では和也君と仁君と一緒にやっているのが印象的だ！
- 14日 今日から畑作業だ、本日は暑い中の畑になった。畑に居る皆は、ジャンパーを脱ぎ俺なんかは半袖のポロシャツだった。今日の仕事は、雑草抜きとハウス内の仕事。花を並べた。
- 15日 今日穏やかな畑日和だと思ふ。それほど暑くは無く、風がないのが嬉しい所だ。畑では花田君がポット上げをやる。俺と越前屋さんはマリーゴールドの植え替え。「明日もオッ君と植え替えあるかな？」と越前屋さんだ。ところで、今日は「畑に居る時に災害になった場合」を想定して、避難訓練を畑班でやった。
- 16日 本日は、「南花畑ピックA」にて中江さんと花売りだった、約1万円位売れた。天気も良いし、お花を触りたい気分の人が多いのかもね。いつも思うが、お客さんとの対応は面白く、為になる事を聞かされることもある。気分の良い本日だった！
- 18日 今日はハウス内で花の移動や花柄摘みをやる。しかし俺は切らなくてもよい「蕾」までハサミで切ってしまう、秋葉さんに注意された！
- 23日 今、木箱作りで忙しいのはギンナン箱大、50束・1000枚を作る予定だ。朝は一時間で8束作った。枠が綺麗に沢山出来ていれば、直ぐに出来てしまう。
- 24日 やったね、今日でギンナン箱大が終わった。51束作った1020枚だ。村田さん・俺・桑原君・花田君・水越君で作った箱だ。ネギ箱も枠が沢山出来たので、桑原君・花田君・俺で底打ちをやった。



東京の桜の開花が観測されたのが去年は3月14日。去年の桜はいくらなんでも早すぎますね。今年は少し遅れて、それでも平年よりかは4日早い3月20日に観測されました。その翌日、長かった新型コロナのまん延防止等重点措置（以下、まん防）が明けました。いまだ警戒は必要なものの、お花見シーズンが本格的に始まる前の、少しだけ良いニュースかと思います。

しかし月末の気候は不思議でした。3月は日ごとに春めいた気候で、庭ではクロッカスが咲き、落葉していた枝からは明るい黄緑色の新芽が芽吹いて、植物の動き出しを感じられて、ウキウキ気分でした。それが一変、急に寒くなったかと思えば先日は雪まで降って、まあ気候の変わりように驚きました。

この時期、花を育てるのに気温が低いと結構困ってしまいます。今の時期は夏の花や野菜などの種をまいており、温度が低いと芽が出ないものもあるからです。先日も、注文があったので初めて育てる夏野菜の種をまいたのですが、温度のせいかわ芽がそろわないものがあり、もう一度種をまく必要がありました。加温ができるヒート板をしいているとはいえ、発芽適温が25度以上だったので、まだ寒かったのかもかもしれません。また、硬い種は水につける方がいいと書いてある一方で、これは水につけてはダメと書いてあって、もう訳が分かりません。花の経験はつんできましたが、野菜はまだ全然です。久保さんから「野菜を育てたい」と要望があったので頑張らなければ。とりあえず一緒に種をまいたミニトマトや青しそなどは芽が出ました。パプリカなどもやっていきたいと思っています。



寒い日があったものの、それなりに成長している花もありまして、フリージアやロベリアがしっかりと咲いており、そのあとに控えているマリーゴールドやペチュニアなどもしっかりと大きくなっています。今ハウスの中は成長中の苗がたくさんあって、直径7.5cmや9cmのポットがひしめきあっています。そして、そのポットの中から花の芽だけでなく雑草もちらほらと生え始めました。これが意外と大変なんです。小さい雑草を一つ一つ探しながら抜くという作業が結構難しく、しっかり苗が育ったところに、足元から雑草も一緒に大きくなっているなんてこともあるのです。今回は量もあって、青木さんや明久さんを始め、普段は植え替えをやっているような桑原さんなどにも行ってもらい、しっかりと抜いてもらいました。また、マリーゴールドは株が小さくともつぼみを付け始め、これも摘み取らないと花を咲かせる方に栄養を取られ、株の生長が遅れてしまうので、こちらは本多さんや安部さんに摘み取ってもらいました。その他、栄養が欲しいけど1度にやりすぎたら枯れてしまうので肥料を少量ずつ入れる作業も、意識しながら秀島さんや久保さんは丁寧にf行ってくれ、こうした小さい作業が実を結び、苗となって販売することができます。

なのでと言ったらなんです、今後とも葦の会の花をよろしく願いいたします。

### カルチャー教室 今後の予定

さをり	4月 2日・16日	5月14日・21日
陶芸	4月 9日・23日	5月14日・28日
習字	4月13日・27日	5月11日・25日
水彩画	4月 8日・22日	5月13日・27日

# あしの家だより



【西新井ホーム】

鎌田 奈緒子

三寒四温を実感する気温差のある季節になりました。天気予報と睨めっこをしながら、トレーナーは不要かな？朝夕はまだ寒いからズボン下は履いてもらおうかな？ 和也さん、明久さんは寒がりだから一枚多く着てもらおうかな？等メンバーさんに合わせた服装選びをしています。

三連休中の奥さんはお墓参りに行き、裕さんはご自宅でTVゲームをして過ごしたそうです。服



部さんはご家族と浅草にお出かけした！ととてもうれしそうに話してくださいました。お父様との晩酌も楽しみな様子です。中原さんはご自宅で大好きな YouTube を観賞していた様です。どんな動画を見ていたのかなぁ？ 今度教えてくださいね。今月は新型コロナワクチン 3 回目接種も行いました。中原さんは少し熱がでましたが、ひどくなることは無く、他の方は副反応は無かったのでホッとしました。また、作業所で健康診断も行われま

した。何日も前から、「22日は朝ごはん無し？ 食べない？」と和也さんと明久さんは繰り返して聞いてきました。桑原さんは、採血が苦手なので、何日も前から緊張していましたが、無事終わってホッとしたようです。結果が気になるところです。

ホームでは感染症予防対策の強化として、各部屋に空気清浄機を設置しました。一人一人の徹底した予防対策に取り組みながら、新型コロナウイルス感染の一日も早い終息を祈るばかりです。

【西伊興ホーム】

入江 美千代

花の蕾もほころぶ季節となりました。3月3日の桃の節句には桜餅を食べたりしたそうで、特に女子メンバーさんは大喜びだったようです。

さて、メンバーさんの様子ですが、青木さんは、安部さんの会話をしっかり聞いているのか、暖かい日は薄手の上着、寒い日はダウンジャンパーと自ら取り替えて着たりしていました。気温に合わせて洋服を選ぶのはとても難しいのですが、すごいですね。花田さんは相変わらず「あいみょんは楽しいです」と怒ってるのかな？と思うぐらい大きな声で挨拶されます。そんな花田さんも



28日に誕生日を迎えます。おめでとうございます。最近では老眼鏡が板についてきて、眼鏡をかけた花田さんは、キリッとしてカッコいいです。松本さん作業所での出来事を身振り手振り交えて話してくれます。オーバーアクションなので、つい笑ってしまいます。増田さんは舎人公園の早咲きの桜を見てきたと教えてくれ、落ち着いて話す事ができて、褒めると顔を真っ赤にします。(笑) 照れ屋さんです。世話好きの安部さんは田沢さんにアレコレ言うので、たまに田沢さんに反発されてます(笑)。とにかく、いつもとても賑やかです。



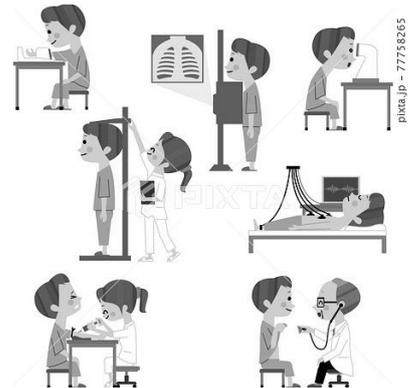
朝夕は肌寒いですが、日中は25度になったり、22日には雪が降ったりと、気温差が激しく、着ていく服装に悩まされる日が多いので体調に気をつけていきたいと思います。

## 《健康診断を行いました》

3月22日（火）に健康診断を行いました。食事制限や朝からの採尿にご協力いただきありがとうございました。本当は2月に計画していたのですが、コロナウイルスの感染拡大に伴い、1カ月遅らせて行いました。ちょうど連休明けなので、採尿を忘れてしまう方もいるかと心配しましたが、1人も忘れることなく、持ってきてくださいました。今年も感染対策のため職員を含め15人ずつ4グループに分かれて時間も分けての検査で、検査の順番もいつもとは変えて行いました。いつもと違う雰囲気でしたがメンバーは慣れた様子で順番に検査を受けてくれました。メンバーの中で採血が苦手な人は多いですが、嫌がって腕を曲げたり逃げてしまったりする方はほとんどいません。みんな随分慣れて、動かないように職員と手をつないでおかなければならない方も、ほとんどいなくなりました。みんな頑張ってくれているのだと毎年感じています。気になったのは、内診の際お医者さんから、「ちょっとお腹のお肉を減らさないとね、体重増加に気を付けて」と言われた方が非常に多かったことです。高齢化と共に、30代になった若手メンバーの体重増加が気になるところです。

健康診断の結果はメンバーに持ち帰ってもらいます。精密検査が必要な方はかかりつけ医やお近くの病院を受診し、必ず検査・診察を受けるようにしてください。

何か相談等ありましたら看護師にお声掛けいただければと思います。（池田）



## < 花売り情報 >

4月 7日（木）・19日（火）・27日（水）竹ノ塚センター

4月13日（水）ビッグ・エー花畑店

4月14日（木）ベルクス南花畑店

4月20日（水）ビッグ・エー南花畑店

4月21日（木）ベルクス古千谷店

4月16日（土）・17日（日）都市農業公園花売り

（桜まつり等のイベントは有りませんが、お花を売らせていただきます）

## 編集後記

私事ではあるが、先月下旬母が亡くなった。94年足らずの生涯を終えた。戦中戦後を生き、11人兄弟の長男だった父と結婚し、妹や弟の世話と昔ながらの厳しい舅姑と共に暮らし、私たち3人姉妹を育ててくれた。（私は3人姉妹の3番目です）義父母を家で介護し見送り、夫を見送った。姉夫婦と同居し、孫やひ孫もしょっちゅう家に来て、賑やかな日々だった。ここ2年ほどは寝たきりだったが、私はコロナ感染拡大し、なかなか思うように郷里に帰る事もできず、昨年緊急事態宣言が開けた秋に、今帰らなければ…と思い会いに帰った。その際は良く食べ良くしゃべった。私の次男も一緒に帰ったので、「大きくなって～誰だっけ？」等とも言いつつ(\*^\_^)今年に入り、状態が良くないと姉から連絡が入った後、二人の姉が付きっきりで介護をしてくれた。私はコロナウイルス感染が爆発的に拡大していた時期でもあり、帰りたくても帰ることは叶わなかった。会いたくても会いに行けないという思いは、より自分の気持ちを沈ませ、心配は倍増した。そしてまた、こんな思いをしている人がたくさんおられることにも思いが及んだ。コロナウイルス感染拡大という言葉が、日々自分の思いを押しつぶした。姉とは毎日のように連絡を取り、母の様子を聞いていた。そして聞くだけでどうする事もできない自分の状況がもどかしかった。母は姉たちの看護により、最後は水だけで10日以上命の炎を燃やし続け、孫やひ孫の声掛けには反応していたようだ。なぜか娘の声掛けには反応しなかったらしいが……。仕事中に姉から母の命が尽きたという電話を受け取った時、自分の口からついて出た言葉は「ありがとう」だけだった。泣きながら「ありがとう」を繰り返した。それは姉達へのありがとうと同時に母へのありがとうだった。ずっと母に直接「ありがとう」を伝えたいと思っていたが、かなわなかった。（去年の10月に会った時にもっときちんと伝えておけばよかったと、後悔した）電話口の姉からは「しっかり仕事しなさい！」と叱られたが、自分をこの世に産み育ててくれた両親がいなくなった。と同時に孫たちの成長を見ては、親世代が築いてくれた平和を孫たちの為に守り築いていかなければとつくづく思う。最近中島みゆきさんの「誕生」という歌を男性ボーカリストがカバーしているのを偶然聞いた。今の私の気持ちにスッと入ってきた。朝晩聞きつつ、母を想い、孫たちの未来を想っている自分がある。さあ、未来の為にもうひと踏ん張り！！だよね！お母さん(\*^\_^) あれこれと思いがけない出来事が続き、年度の切り替わりと重なって、4月号の発行が大変遅くなった事をお詫びします。（池田）